



南葵音楽文庫
和歌山県立図書館内
和歌山市西高松 1-7-38
tel.073-436-9500
<https://www.lib.wakayama-c.ed.jp/nanki/>

南葵音楽文庫の「コンチェルト (協奏曲)」に関連する参考文献

Arthur Hutchings, The Baroque Concerto (The Norton Library N315)1965,
武川 寛海『協奏曲の名曲』1965 ナ/763.39 ナ/764.39/HU/
フリードリヒ・ブルーム『ルネサンスとバロックの音楽』 ナ/762.0/ブコ
クロード・パリスカ『バロックの音楽』1975 ナ/762.05/パリ
皆川達夫『バロック音楽』講談社現代新書 291, 1972 ナ/762.05/ミナ

南葵音楽文庫には、バロック期に限らず、コンチェルト (協奏曲) の楽譜や、コンチェルトについて書かれた多くの文献が所蔵されています。和歌山県立図書館の「資料検索」で"concerto"、"Konzert"、あるいは「コンチェルト」「協奏曲」を入力し、「資料区分」で「南葵音楽文庫」を選択の上、検索してみてください。また、和歌山県立図書館にも、コンチェルト (協奏曲) についての文献が所蔵されています。

コンチェルト (協奏曲)

1. 一般的な理解 (=18世紀後半以降のコンチェルト)

一つ、あるいは複数の独奏楽器とオーケストラによって演奏される楽曲

多くは3楽章 (緩-急-緩) から構成され、独奏は技巧的

2-1 語源: concertare (論争する、議論する) の過去分詞の名詞化=concerto

→ 異なる性質の響きを組み合わせるより良い響きを生み出す

2-2 最初期のコンチェルト: 声楽と器楽を組み合わせた楽曲 (=教会コンチェルト)

2-3 複合唱様式/分割合唱様式 (cori spezzati) からコンチェルト様式へ

ヴェネツィアのサン・マルコ大聖堂で発展した複数の合唱 (演奏) 体を「対比的」に用いる音楽様式

3. バロック盛期のコンチェルト: 「対比的な構成」による楽曲

コンチェルト・グロッソ (合奏協奏曲): 小楽器群 vs 大楽器群 (通奏低音を含む弦楽合奏)

独奏コンチェルト: 独奏楽器 vs オーケストラ (通奏低音を含む弦楽合奏)

室内楽のコンチェルト=室内楽的な楽器編成、あるいは独奏楽器のみによるコンチェルト

リピエノ・コンチェルト: オーケストラ (通奏低音を含む弦楽合奏) のみ

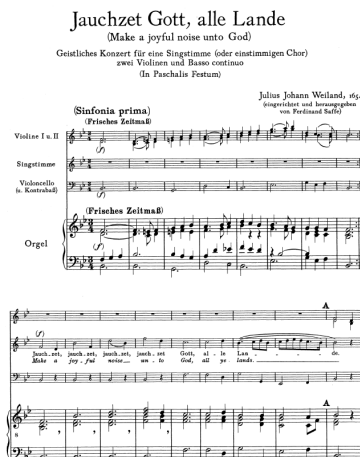
Jauchzet Gott, alle Lande
(Make a joyful noise unto God)
Geistliches Konzert für eine Singstimme (oder einstimmigen Chor)
zwei Violinen und Basso continuo
(in Paschalis Festum)

Julius Johann Weiland, 1634
(eingeleitet und herangezogen von Ferdinand Sailer)

(Sinfonia prima)
(Frisches Zeitmaß)

Violin I u. II
Singstimme
Violoncello u. Kontrabaß
Orgel

(Frisches Zeitmaß B)




教会コンチェルトの実例 (冒頭)

ユリウス・ヨハネス・ヴァイラント

(1663年没)

《神に向かって喜びの声をあげよ》

Julius Johannes Weiland, "Jauchzet Gott, alle Lande" (Nagels Musik-Archiv, Nr 14)

1964 楽譜/760.8/NA/14

左図版: 1928年版から